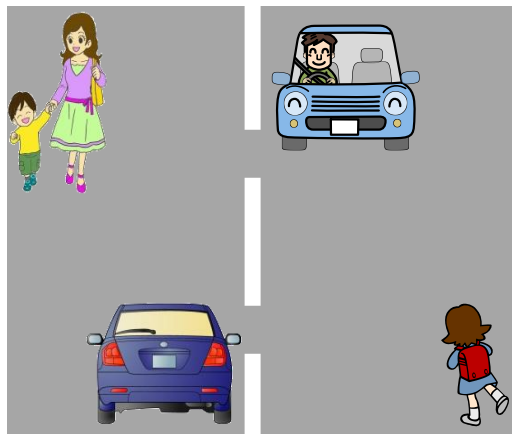


日本の交通ルール

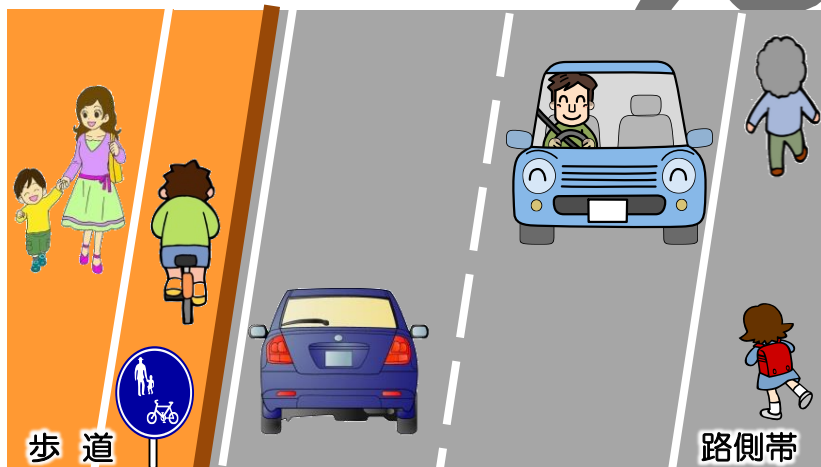


～歩行者編～

1 通行区分



右側を歩きましょう。
車両は左側を通行します。



歩道や路側帯がある時は、そこを歩きましょう。

2 横断方法

① 信号の意味

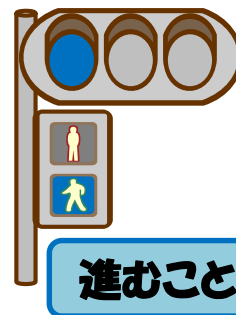


横断してはいけません。



止まれ

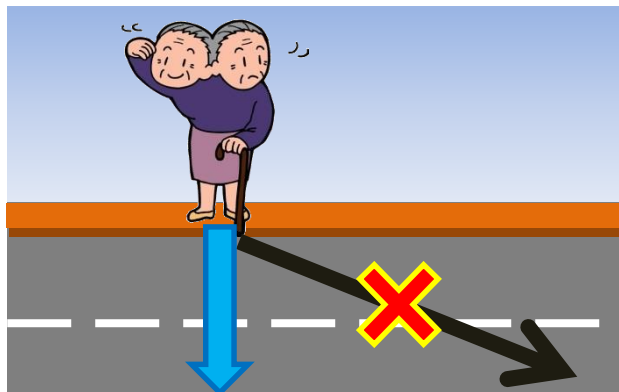
- 横断を始めてはいけません。
- 横断中の場合は、速やかに横断を終るか、横断をやめて引き返してください。



進むことができる

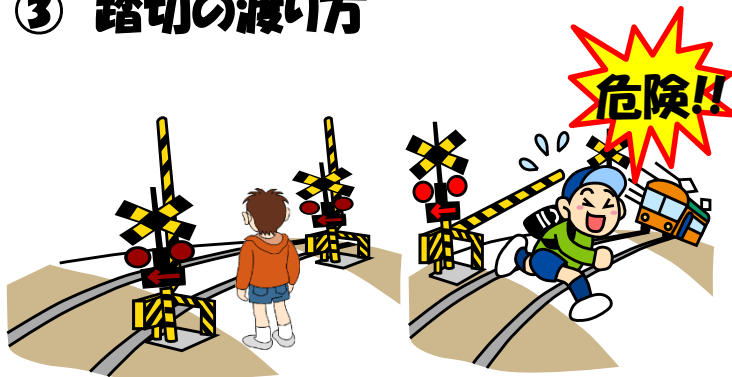
左右の安全を確認してから進みましょう。

② 道路の渡り方



- 左右がよく見通せるところで渡りましょう。
- 渡る前に止まって車が来ないか左右をよく見ましょう。
- 無理な横断は、絶対にしないでください。
- 斜め横断も危険です。

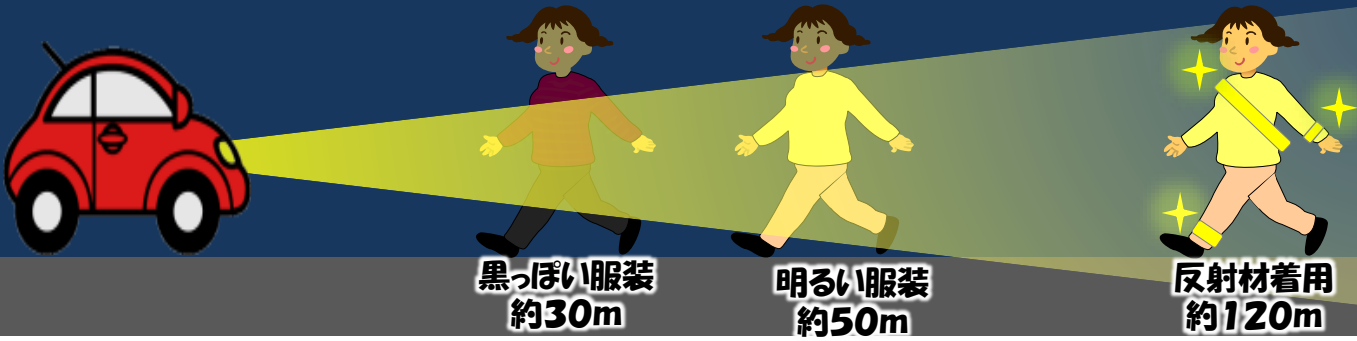
③ 踏切の渡り方



- 踏切の手前で止まって、左右の安全を確認しましょう。
- 踏切を渡る時は、立ち止まらず速やかに渡りましょう。
- 警報機が鳴っているときや遮断機が下り始めてからは絶対に踏切に入らないでください。

3 反射材の着用

明るい服装と反射材を活用しましょう



黒っぽい服装
約30m

明るい服装
約50m

反射材着用
約120m

車の運転手からは、歩行者が見えません。

夕暮れから早朝にかけて歩く時は、白や黄色の明るく目立つ色の服装を心がけ、反射材やライトを服や持ち物に付けて車からよく見えるようにしましょう。

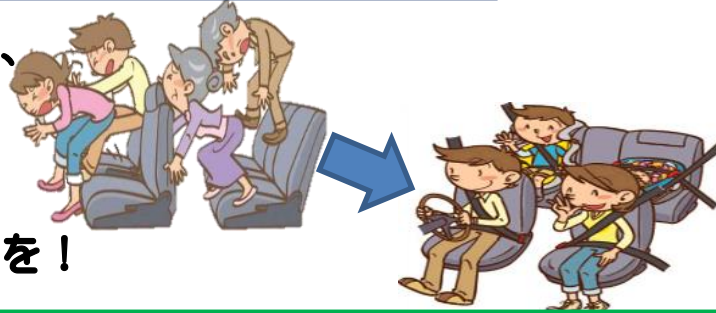
4 シートベルト・チャイルドシートの着用

シートベルト・チャイルドシートは、あなたと子供の命を守ります。

どの席に座っても

シートベルトを着用しましょう。

6歳未満の子供はチャイルドシートを！



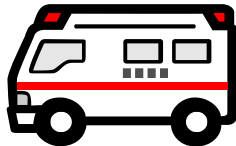
5 交通事故に遭ってしまったら...



動ける場合は、安全な場所に移動しましょう。

ケガをした場合は

電話番号 **119**



ケガをした場合は、救急車の到着まで、清潔なハンカチなどで止血したり、可能な応急処置をしましょう。

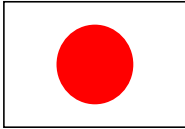


交通事故に遭ったら

電話番号 **110**

警察官が来るまで安全な場所で待ちましょう。



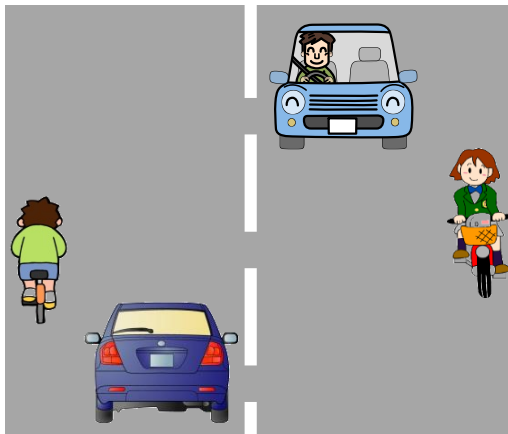


日本の交通ルール

～自転車編～

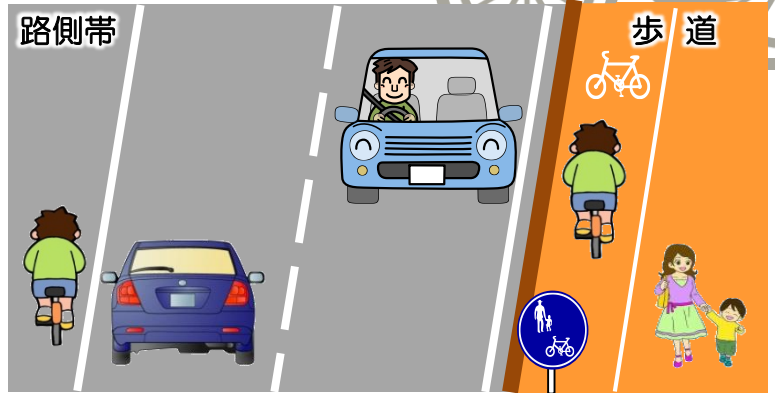


1 通行区分



車道の左側を走りましょう

自転車は、車道通行が原則です。
歩道や路側帯の通行ができる時でも歩行者が優先です。



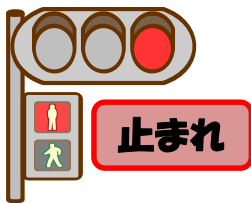
路側帯 歩道・路側帯の通行方法

- ・路側帯（ただし左側のみ）
- ・（自転車歩道通行可）の標識
- ・（自転車歩道通行可）の標示がある歩道

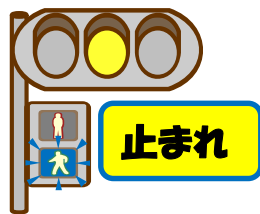
※13歳未満の子供や70歳以上の高齢者、車道が危険な場合等は、歩道を通行できます。

2 交差点の通行方法

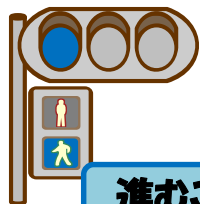
① 信号の意味



止まれ
横断・進行してはいけません。



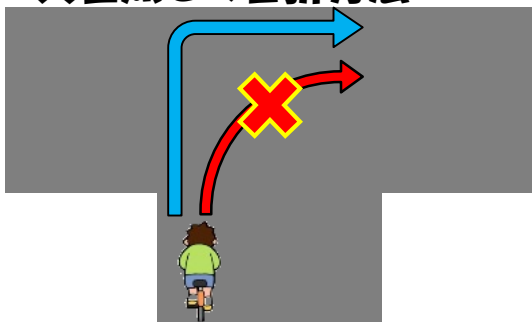
止まれ
横断・進行を始めてはいけません。
ただし、安全に止まれない場合は進むことができます。



進むことができる

左右の安全を確認して進みましょう。

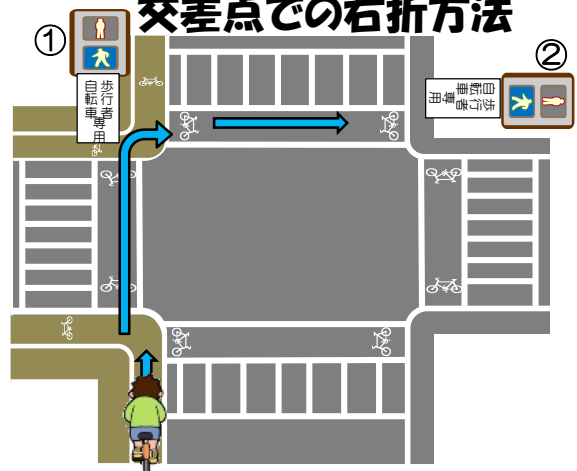
② 交差点での右折方法



交差点を右折する時は、事前にはできるだけ道路の左端に寄り、速度を十分落とし、交差点の中央に寄らず大回りに右折しなければなりません。

③ 自転車横断帯がある

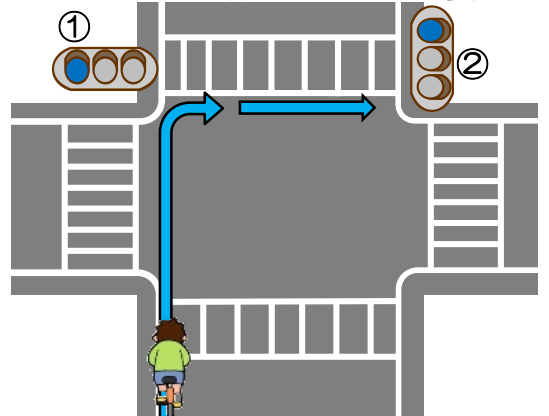
交差点での右折方法



- ・「歩行者・自転車専用信号機」があるときは、その信号に従って通行しなければなりません。
- ・信号①の青信号で進行し、右方向に向きを変えて、信号②が青になってから進行します。

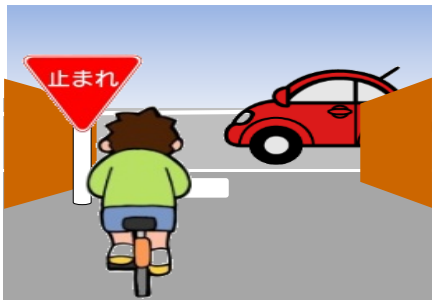
④ 自転車横断帯のない

交差点での右折方法



信号①の青信号で進行し、右方向に向きを変えて、信号②が青になってから進行します。

3 一時停止標識のある交差点の通行方法



- 一時停止標識があるところでは、必ず止まりましょう。
- 止まって、左右の安全を確認してから進みましょう。
- 一時停止標識がない交差点でも、安全確認をしましょう。

4 通行できない場所



通行止
通行止め



車両通行止め



車両進入禁止



自転車通行止め



歩行者専用

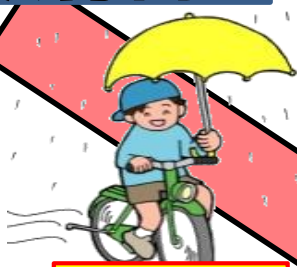


自動車専用

5 違反行為



携帯電話の使用



傘さし運転



無灯火



飲酒運転



イヤホンの使用



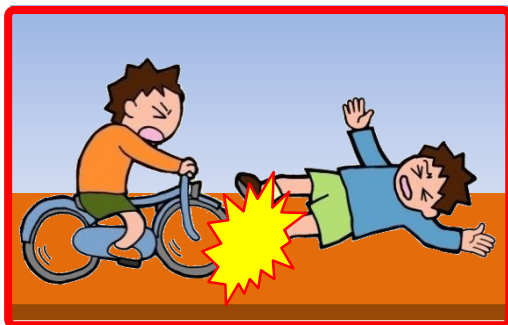
二人乗り

交通違反の一例です。
交通ルールは、
必ず守りましょう。

※飲酒運転などの危険な違反を繰り返すと「自転車運転者講習」を受講しなければいけません。(受講しないと5万円以下の罰金)



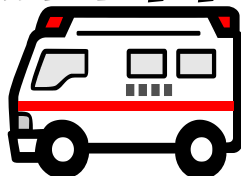
6 交通事故を起こしたら...



- 直ちに車両の運転を停止しましょう。
- 交通の妨げにならないようにしましょう。

負傷者がいる場合は

電話番号 **119**



負傷者がいる場合は、救急車の到着まで、清潔なハンカチなどで止血したり、可能な応急処置しましょう。
※ただし、負傷者をむやみに動かさない。

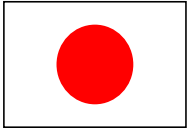


交通事故を起こしたら

電話番号 **110**

警察官が来るまで絶対に事故現場から立ち去ってはいけません。





日本の交通ルール

～自動車編～

交通事故 3つの責任 交通違反 2つの責任

行政
(免許取消・停止等)



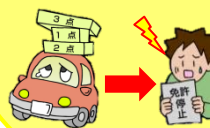
民事
(損害賠償)



刑事
(懲役・罰金等)



行政
(免許取消・停止等)



刑事
(懲役・罰金等)



1 運転免許

① 外国運転免許証による運転

対象国：エストニア・スイス
スロベニア・ドイツ・フランス
ベルギー・モナコ・台湾

※日本に上陸して1年に限る
※日本語翻訳文の添付が必要

② 国際運転免許証による運転

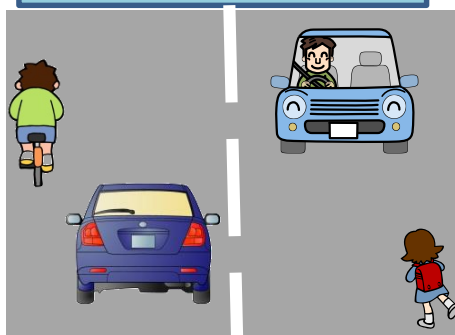
対象国：ジュネーブ条約締結国

※日本に上陸して1年に限る

③ 日本の運転免許取得

※各種詳細は、お問い合わせください
お問い合わせ先：群馬県警察本部 運転免許課
027-253-9300

2 通行方法



車は、左側を走りましょう。
歩行者は右側を歩きます。

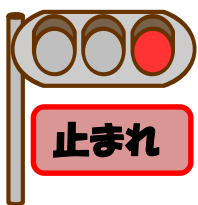
3 シートベルト チャイルドシートの着用



シートベルト・チャイルドシートは、
万が一の時にあなたと子供の命を
守ります。
どの席に座っても
シートベルトを着用しましょう。
6歳未満の子供はチャイルドシートを！

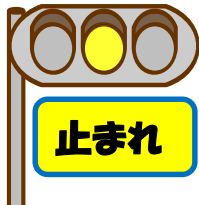
4 通行方法

① 信号の意味



止まれ

進行してはいけません



止まれ

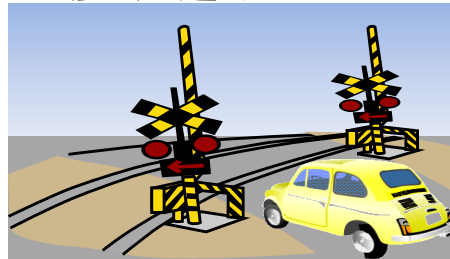
進行を始めてはいけません。
ただし、安全に止まれない
場合は進むことができます。



進むことが
できる

左右の安全を確認して
進みましょう。

③ 踏切の通過方法



踏切の直前で停止し、安全確認してから通過しましょう。
遮断機や警報機が作動している間は、絶対に踏切に入ら
ないでください。

② 交差点での通行方法



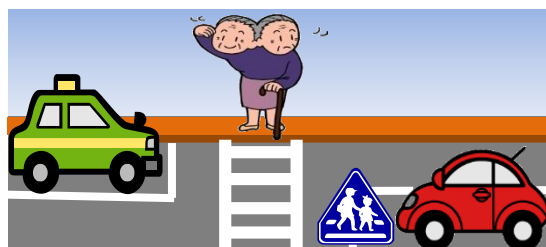
止まれ



STOP

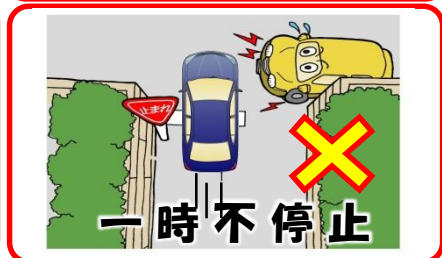
・一時停止標識があるところでは、必ず止まりましょう。
・止まって、左右の安全を確認してから進みましょう。
・一時停止標識がない交差点でも、安全確認をしましょう。

④ 横断歩道の通過方法



横断歩道で歩行者が横断しようとしている時は、
一時停止をして、横断させましょう。

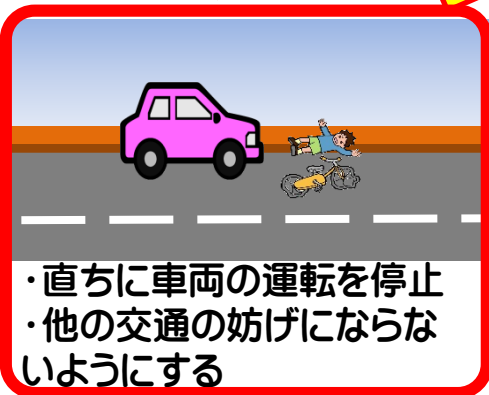
5 違反行為



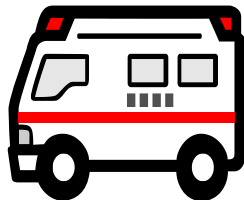
交通違反の一例です。
交通ルールは、
必ず守りましょう。



6 交通事故を起こしたら...



負傷者がいる場合は
電話番号 **119**



・負傷者がいる場合は、救急車の到着まで、清潔なハンカチなどで止血したり、可能な応急処置をする
※ただし、負傷者をむやみに動かさない。



交通事故を起こしたら

電話番号 **110**

警察官が来るまで絶対に事故現場から立ち去ってはいけません。

